

平成 26年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「大田原市須賀川地区」

第1回活動報告 H26・6・7(土)

第1回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が6月7日、大田原市須賀川地区の「那須・雲岩寺T&A 組合」が管理する畑で行われ、足利短期大学生がヒマワリの種まきや草刈り・除草に汗を流しました。

カレッジ活動は、高校生や大学生、専門学校生に農作業体験を通して農業農村環境の維持・保全の重要性を学んでもらうのが狙いで、平成 23 年度から実施しています。今回カレッジ活動に参加したのは、足利短期大学のこども学科で保育士を目指す学生 34 名です。受入れは、昨年もカレッジ活動で宇都宮文星短大生らを受け入れた同地区のやみぞあづまっぺ協議会(鈴木一利会長)のメンバー8名です。

当日は、あいにくの小雨混じり天候でしたが、畑の土壌改良のためのヒマワリの種まきでは、ミミズの出現に大騒ぎしながら一粒一粒でいねいに土の中にまいていました。また、ラズベリー畑の草刈りや除草では、草刈り機の使い方の指導を受けて草刈りを実体験したり、雑草を教わりカマで除去したり、蒸し暑い中で汗をかきながら真剣に作業に取り組んでいました。

作業のあとは、大田原市須賀川出張所で地元の食材を使ったおこわやゼンマイ、ジャガイモの煮つけなどがふるまわれ、学生たちは手づくりのおいしい昼食に大喜びでした。また、昼食あとの交流会では「若い人たちが手伝いに来てくれることで地域に元気が出る」(鈴木会長)、「初めて草刈り機で草刈りをしたが大変さがわかり貴重な体験ができた」(男子学生)といった感想が語られました。



貸切バスで足利を出発





作業手順の説明を受け、まずヒマワリの種まき



一粒一粒ていねいに種まきします。ミミズの出現に大騒ぎ



ラズベリー畑に移動して除草作業の説明を受けて・・・



除去する雑草を教わる



草刈り機の安全な使い方を教わる



草刈り機を使っての草刈り初体験、真剣です



女子も挑戦



きれいに除草された
ラズベリー畑



昼食の準備をする地元の人たち



学生たちも配膳のお手伝い



地元の食材たっぷりのおいしい昼食に大喜び



交流会であいさつする鈴木やみぞ
あづまっぺ協議会長

「貴重な体験ができた」と
感想を述べる男子学生

